

## 警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県泉警察署協議会
日 時	令和4年5月12日（木）午後2時58分から午後5時5分まで
場 所	神奈川県泉警察署
出席者	1 警察署協議会側 五十嵐 英成 内藤 光雄 石川 あさ子 伊東 宏信 久我 すみ子 鈴木 傑 長尾 美津子 市川 一弘 計8人 2 警察署側 署長 甲斐 次幸 警務課長 山崎 謙治 留置管理課長 塩見 征司 会計課長 宮地 文子 生活安全課長 小川 健司 地域課長 杵渕 竜也 刑事課長 邑樂 貞男 交通課長 園田 崇博 警備課長 小綿 美彦 計9人
議事要旨	<p style="text-align: center;">警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明</p> 1 警察署協議会からの答申等に対する措置結果の報告 「特殊詐欺抑止方策」について (1) 答申 ・ 留守番電話を設置してもらえるよう、更なるアピールをしてもらいたい。 ・ 電話に出ってしまったときの対応フレーズを考えてもらいたい。 (2) 措置結果 ・ 年末年始特別警戒の期間中、車両2台人員4人による広報部隊を編成し、朝夕を中心に、子供の声による留守番電話設定を求める内容の広報を実施した。 また、地域課のパトカーについては、住宅街における警戒警らの際、この子供の声の広報を継続実施している。 ・ 相鉄線の各駅改札口付近、区役所内に設置されているデジタルサイネージを使用した広報を実施した。 ・ 例年通り、各企業からの協賛により、特殊詐欺防止を訴える年賀状約6,000枚を泉区内で配布した。 などの施策を実施し、今後 ・ 区役所と協定を締結し、迷惑電話防止機能を有する機器の購入が予算化されたことから、この撃退機の貸付けを通じ、更なる留守番電話設定の有効性をアピールしていく旨を説明した。 ・ 電話に出ってしまった時の対応フレーズについては、 サギを疑え！ ～電話の相手を信じるな～ とした。 ・ このフレーズについては、図案化したものをシールにして、高齢

者宅の電話機に貼ってもらうようにするとともに、大きめのサイズの物も用意し、店舗入口に貼るなどし、街中の至る場所で目にできるように区役所と協議中である。

旨の説明を行った。

(令和4年2月、各委員に措置結果を記載した資料を配り説明を実施した。)

#### 諮問

「地域住民の望む交番のあり方」について

#### 答申

『「見える・見せる・声かける」警戒活動』というものを強化しているというので、そのまま現状維持に努めてraitたい。

#### 業務説明

前四半期（令和4年1月から3月まで）の業務推進結果及び今四半期（令和4年4月から6月まで）の業務計画について、各課長が作成した資料を事前に各委員に配布すると共に、署長が説明を行った。